

ましみずの里

No. 11
R2. 9. 4
校長
海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます



東西取組のない、特別な学習！ 土俵入り発表会を開催 9/2

7月3日付け、「ましみずの里No.8」と8月28日付け、「今後の学校行事やPTA活動等について」でお伝えしたように、2日（水）、「土俵入り発表会」を開催しました。全校児童の中心になって学習をしていく、6年生と5年生には、7月にこの発表会のねらいを伝え、単に「学校からやらされている学習」ではなく、児童自らが「自分達がこれまでの伝統を引き継ぎ、下級生へ伝えていきたい。」という思いや願いを学習へ向かう意欲に高めていきながら取り組んでいくことが、「本校にとって極めて大事な学習である。」と捉えて進めてきたところです。



6年生の引継ぎへの思いや願い、そして仲間からのエールが、この学習の大切な価値です。

- ★高揃小の伝統を引き継いでいくために、横綱土俵入り、幕内力士土俵入り等をやりたいと思います。相撲そのものはできなくても、これまでずっと続いていた伝統だから、この伝統を自分達の年でなくしてはいけない、続けてほしいと思うからです。（6年女子）
- ★高揃小の6年生として、下の学年にしっかりとしたところを見てもらって、6年生がこういう時期だけどがんばっているから、自分達もがんばろうと思わせるようにしていきたい。（6年男子）
- ★土俵入りや弓取り、行司と呼び出しだけでもやった方がいいと思いました。理由は1年生から5年生までが土俵入り等を見たいと思うからです。（6年男子）
- ★私は、行司や弓取り等、みんなに披露したいです。来年、今の5年生がする時にはもう私達はいないし、しっかり教えることもできなくなるから、少しでも覚えてほしいから、披露したいです。（6年女子）
- ★横綱土俵入り、行司、呼び出し等を見せて、伝統行事のすごさを知ってもらいたいです。（6年女子）
- ★6年生としての思い出を作るため、伝統を残して、卒業したいと思います。（6年男子）

土俵入り発表会へむけて

6年生のふりかえり学習から

☆相撲の伝統を伝えたり、引き継ごうとしたための「めあて」を立てよう

すもう大会は高揃小の伝統で大切なものだから自分がすることによってしょうけんめい練習してみんなに教え合ったりして、本番では一番いい声を出してすもう大会を盛り上げる!!

☆めあてを振り返ろう


わたしは一回目の時すごくさんざんしてドクドクしてただけと練習してきた事をしかり真剣に入れて声を出してちゃんとまろかえすに言うことができたのでよかったです。しせいをおすれすにしかりできました。みんなからエールをもらったので勇気をもてることができました。最後まで一人一人がせいせいとうとうとできたので大成できたと思いました。

名前


☆仲間からのエール

呼び出して、声と大きく出して、いきいきと頑張ったの、よく頑張りました。みんなのお手本になってほしいと思います。これからもいっしょにかんばろうね!!

呼び出し



行司



6年生へのあこがれをもった下級生。これも、土俵入り発表会学習の大切な価値です。

6年生のみなさん
6年生の土俵入りを見てか、こい
なと思いました。しかもひたし
のみなさんも、はざりした声で
ステキだと思います。今年の
6年生もとてもかっこいいで
す。とてもステキな土俵入りでし
た。わたしは、よひだしがとてモス
テキタと思、て来年はよひだ
しをかんぼわたらいいな、と
思います。とうるさんのやみとりが
かっこよかったです。

5年生のふりかえり学習から

六年生のみなさん
土俵入り発表会すごかったです。
今年は、おもう大会かなくてごめん
してあげて6年生の土俵入り発表会を見
てもう大会をした気分になりました。
よひ出しも大きな声で、はきはししてい
てもかっこいいと思、てました。6年生
のやみとりもかっこいいな、と
思います。来年はよひだ
しをかんぼわたらいいな、と
思います。とうるさんのやみとりが
かっこよかったです。

4年生のふりかえり学習から

六年生へ
わたしは6年生のみなさん
にみとれました。
わたしも6年生になつた
らわたしたちもかっこよくす
てきな土俵入りをしたい
です。よひ出しもかっこよ
かったです。

3年生のふりかえり学習から



西幕内力士土俵入り



進行・放送



東幕内力士土俵入り



西横綱土俵入り



弓取り



東横綱土俵入り

本校のまわしについての考え方・・・ご理解をお願いいたします

本校は3年前まで、5・6年生男子はまわしの下に露出をさけるためのさらし等を巻いて、取組を行っていました。しかし、これまでまわしがとれそうになって、集中して取組めないという男子の声や男子の臀部が見えては恥ずかしいという女子の声等が寄せられました。そこで、下記の点をふまえて、まわしの下にアンダーパンツを着用して、今年度で3年目になります

- 1 体を動かす心地よさを味わう（安心して取組める）＝2017年度版学習指導要領体育編の体づくり運動のねらいから
 - 2 わんぱく相撲を主催している財団法人日本相撲連盟は、競技人口を増やす措置として2007年に「児童生徒はまわしの下に、紺又は黒色のアンダーパンツを着用することを原則とする」と競技規則を改正した。
- ★まわしの下に、紺又は黒色のアンダーパンツ（水着）を着用することを原則とし、体を動かす心地よさと体の動きを高めることをねらい、安心して対戦・応援できる学習を続けます。ご理解をお願いいたします。



新しい先生の紹介

新型コロナへの影響を踏まえ、学校教育活動の指導体制の充実と教員の多忙化解消を図るために、国県より緊急に配置措置が講じられた事業により、以下2名の先生方に勤務していただくことになりました。

飯野 順子先生 学習指導員 平成27年度から4年間、本校の図書の仕事をしていただきました。

長谷川喜久先生 スクールサポートスタッフ 平成17年度から5年間、本校の給食の仕事をしていただきました。

子供達の学習指導補助や教材等の印刷、物品の整理、換気や消毒等の感染症対策等の業務になります。